

(参考)

袋詰めされた精米の具体的な表示例

令和2年12月17日
消費者庁

表示すべき事項は、①名称、②原料玄米、③内容量、④精米時期、⑤食品関連事業者の氏名又は名称、住所及び電話番号です。具体的には定められた様式（食品表示基準別記様式4）に基づき、次により表示します。

1 単一原料米

産地、品種及び産年（以下「産地等」という。）が同一であり、かつ、その根拠を示す資料を保管している原料玄米については、「単一原料米」と表示し、その産地等を併記します。

この場合における産地は、国産品にあつては都道府県名、市町村名その他一般に知られている地名を、輸入品にあつては原産国名又は一般に知られている地名を表示します。

（表示例）

名 称	精 米		
	産 地	品 種	産 年
原料玄米	単一原料米 〇〇県	〇〇ヒカリ	〇〇年産
内容量	〇 k g		
精米時期	〇〇. 〇〇. 〇旬		
販売者	〇〇米穀株式会社 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 〇-〇〇 電話番号 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇		

（次頁に続く）

2 複数原料米

- ① 1に該当しない原料玄米を用いる場合は、「複数原料米」等原料玄米の産地等が同一でない旨を表示し、その産地及び使用割合を併記します。その場合には、国産品及び輸入品の原産国ごとに使用割合の高い順に表示します。

(表示例)

	産 地	品 種	産 年	使用割合
原料玄米	複数原料米			
	国内産			8割
	中国産			2割

- ② ①の場合で詳細な産地、品種又は産年を表示したい場合は、その根拠を示す資料を保管すれば、①の表示の「原産国名及び使用割合」の次に括弧を付して産地等を使用割合と併せて表示することができます。

なお、産地等の一部を表示する場合にあっては、表示する全ての原料玄米について原産国ごとに表示項目をそろえて表示してください。

(表示例)

	産 地	品 種	産 年	使用割合	
原料玄米	複数原料米				
	アメリカ産			6割	
	〔	〇〇州		〇〇年産	4割
		〇〇州		〇〇年産	2割
	国内産			4割	
	〔	〇〇県	〇〇ヒカリ		2割
		〇〇県	〇〇コマチ		2割

(次頁に続く)

3 表示根拠の確認方法（任意表示）

産地等を表示する場合においては、その表示事項の根拠となる情報の確認方法を表示することができます。

具体的には、確認者や確認した方法について、以下の例を参考にして記載してください。

【農産物検査による証明を受けている場合】

（表示例 1）

	産 地	品 種	産 年
原料玄米	単一原料米（農産物検査証明済）		
	〇〇県	〇〇ヒカリ	〇〇年産

（表示例 2）

	産 地	品 種	産 年
原料玄米	単一原料米		
	〇〇県 農産物検査証明による	〇〇ヒカリ	〇〇年産

（表示例 3）

	産 地	品 種	産 年	使用割合
原料玄米	複数原料米			
	国内産 〔 〇〇県産 農産物検査済 〕	〇〇ヒカリ	〇〇年産	10割 8割

（次頁に続く）

(表示例 4)

	産 地	品 種	産 年	使用割合
原料玄米	複数原料米			
	国内産			10割
	〇〇県産			8割
	△△県産 (農産物検査証明あり)			2割

【農産物検査による証明を受けていない場合】

(表示例 1)

	産 地	品 種	産 年
原料玄米	単一原料米 (〇〇ライスの自社基準による確認済)		
	〇〇県	〇〇ヒカリ	〇〇年産

(表示例 2)

	産 地	品 種	産 年
原料玄米	単一原料米		
	〇〇県	〇〇ヒカリ	〇〇年産
	品種については、DNA検査済		

(次頁に続く)

(表示例 3)

	産 地	品 種	産 年	使用割合
原料玄米	複数原料米			
	国内産（契約栽培ほ場で生産）			10割
	〇〇県産	〇〇ヒカリ	〇〇年産	8割
	△△県産	〇〇ニシキ	〇〇年産	2割

(表示例 4)

	産 地	品 種	産 年	使用割合
原料玄米	複数原料米			
	国内産 〔 〇〇県産（米トレサ法による伝達）			10割 10割 〕